



## 平成24年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月12日

上場取引所 東

上場会社名 津田駒工業株式会社

コード番号 6217 URL <http://www.tsudakoma.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 菱沼 捷二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部長

(氏名) 富井 裕次

TEL 076-242-1111

四半期報告書提出予定日 平成24年7月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年11月期第2四半期の連結業績(平成23年12月1日～平成24年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第2四半期	16,605	△23.1	△606	—	△645	—	△651	—
23年11月期第2四半期	21,583	70.6	672	—	567	—	496	—

(注) 包括利益 24年11月期第2四半期 △740百万円 (—%) 23年11月期第2四半期 530百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年11月期第2四半期	△10.20	—
23年11月期第2四半期	7.77	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年11月期第2四半期	36,553	17,174	44.2
23年11月期	39,261	17,917	42.9

(参考) 自己資本 24年11月期第2四半期 16,157百万円 23年11月期 16,862百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年11月期	—	0.00	—	—	—
24年11月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

・平成24年11月期の期末の配当につきましては未定です。

配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

### 3. 平成24年11月期の連結業績予想(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	38,100	△10.2	450	△55.3	400	△51.5	350	△60.9	5.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年11月期2Q	68,075,552 株	23年11月期	68,075,552 株
② 期末自己株式数	24年11月期2Q	4,153,912 株	23年11月期	4,152,762 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年11月期2Q	63,922,384 株	23年11月期2Q	63,924,877 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P 5
3. 四半期連結財務諸表	P 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 8
四半期連結損益計算書	P 8
四半期連結包括利益計算書	P 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P 10
(4) 継続企業の前提に関する注記	P 11
(5) セグメント情報等	P 11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P 12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州の債務危機による国際経済の不安定と著しい円高の継続により、輸出関連企業を中心に大変厳しい状況が続きました。

こうした中、当企業グループは、受注確保とともに、生産能力の拡大に注力いたしました。繊維機械事業では、中心市場であります中国市場で、金融引締めの影響に加えて昨年末から中国の繊維製品の重要な輸出先であります欧州の景気後退の影響が顕著となり、繊維機械設備に対する設備投資意欲が冷え込みましたため、予想を大きく下回る結果となりました。一方、工作機械関連事業では、新興国や米国の自動車産業の設備投資等に支えられ、受注・売上ともに増加いたしました。

この結果、全体では繊維機械事業の停滞が大きく影響し、売上高は16,605百万円（前年同期比23.1%減）にとどまりました。このため損益面では、誠に遺憾ながら、営業損失606百万円（前年同期 営業利益672百万円）、経常損失645百万円（同 経常利益567百万円）の損失計上となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

## &lt;繊維機械事業&gt;

中心市場であります中国では、昨年来続いておりました金融引締め政策が徐々に緩和の傾向に変更されましたものの、中国の繊維製品の主要な輸出先であります欧州の景気後退の影響が鮮明になりましたことから、設備投資意欲は急速に冷え込みました。また、金融緩和に伴い、契約案件に対するL/C（銀行信用状）の開設の進捗が期待されましたが、大きな改善が見られませんでした。こうした状況から受注が減少し、その影響から第2四半期において生産が減少いたしました。一方、インドではデニム織物を中心に内需が好調であり、また、TUF（繊維産業設備近代化基金）の再開も決定され、エアジェットルームの商談が活発になりました。

この結果、繊維機械事業の売上高は12,747百万円（前年同期比32.1%減）となり、営業損失306百万円（前年同期 営業利益1,209百万円）となりました。

なお、当企業グループは中国においてエアジェットルームの一部機種の生産を行うため、平成24年3月に中国の繊維機械メーカーと合弁会社を設立することを決定し、現在設立に向けた法的整備ならびに工場の建設準備を進めております。

## &lt;工作機械関連事業&gt;

当事業の主要な取引先であります工作機械業界は、円高や欧州の景気後退の影響がありましたものの、堅調に推移いたしました。市場別に見ますと、中国では金融引締めの影響が懸念されましたが自動車産業やスマートフォンなどの分野で設備投資が進み、堅調に推移いたしました。また、インドやタイでも、自動車産業を中心に活況を呈しております。米国では、自動車、航空機や建機、エネルギー分野など基幹産業に回復が見られ、堅調に推移いたしました。

こうした状況に対し、当事業部は、実績のある自動車部品加工ライン専用NC円テーブルやタブレット・スマートフォンの部品加工用のNC円テーブルを中心に受注確保に注力し、新興国の製品との厳しい価格競争がありましたものの受注を伸ばすことができました。また、昨年竣工をいたしました第3工場が本格的に稼動をした効果も加わって生産を拡大することができました。

この結果、工作機械関連事業部の売上高は3,857百万円（前年同期比36.8%増）となり、営業利益263百万円（前年同期 営業利益12百万円）となりました。

\*工作機械関連事業は、これまで「工作用機器事業」として展開してまいりました事業のさらなる拡大をめざして本年2月に改組・発足いたしました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,708百万円減少し36,553百万円となりました。主な増減は、仕入債務等の決済に伴う現金及び預金の減少や売上高の減少による売上債権の減少によるものであります。負債は、前連結会計年度末に比べ1,965百万円減少し19,378百万円となりました。主な増減は、短期借入金の導入による増加の一方、長期借入金の返済や生産の減少による仕入債務の減少によるものであります。純資産は、四半期純損失651百万円を計上したこと等により、前連結会計年度末に比べ742百万円減少し、17,174百万円となり、自己資本比率は44.2%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,194百万円減少し9,863百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権が減少したものの、税金等調整前四半期純損失666百万円の計上や仕入債務の減少によりマイナス783百万円となりました。(前年同四半期はマイナス205百万円。)

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出603百万円や子会社株式の取得による支出318百万円などにより、マイナス879百万円となりました。(前年同四半期はマイナス694百万円。)

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出534百万円があったものの、短期借入金の借入による収入1,000百万円があったため、462百万円となりました。(前年同四半期はマイナス599百万円。)

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

繊維機械事業では、第3、第4四半期につきましては第2四半期に比べ大幅に改善を予想しておりますものの、中国向け案件では前半の受注減少が影響し、売上高は若干減少すると見ております。一方、インドを中心にエアジェットルームの売上の増加を見込んでおります。受注環境につきましても、中国市場の金融緩和や原綿価格の安定などが期待され、次第に回復に向かうと予想しております。

しかしながら、欧州の景気後退による中国製繊維製品の輸出減少や昨年来ウォータージェットルームの需要を牽引しておりましたスポーツ衣料などに用いられる細番手高密度織物市場に停滞感が見られますことから、当初予想した伸びには至らないと判断せざるを得ません。

こうした市場環境の変化に対し、受注の確保はもとより、社内での生産改善、コストダウンを強力に進め、利益確保につなげてまいりたいと存じます。

工作機械関連事業では、欧州債務危機の影響が懸念されますものの、日本の工作機械業界は引き続き堅調に推移すると予想され、また世界の主要自動車メーカーや自動車部品メーカーがグローバルな設備投資を継続しておりますことから、市場環境は総じて堅調に推移すると見込んでおります。こうした流れの中で、当事業部門におきましても、引き続き業績の改善を見込んでおります。積極的な受注活動を展開してまいりますとともに、生産の効率化を図り、売上の拡大を果たしてまいりたいと存じます。

以上の通り、繊維機械事業の先行きが不透明となっておりますことから、通期の業績予想につきましては、売上高38,100百万円と、誠に遺憾ながら4月13日に公表いたしました予想値を下回る見込みとなりました。損益面では営業利益450百万円、経常利益400百万円、当期純利益350百万円を予想しております。

なお、詳細は本日開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおりであります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用）

第1 四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,398	10,103
受取手形及び売掛金	10,723	8,821
製品	1,070	1,271
仕掛品	2,429	2,406
原材料及び貯蔵品	519	648
その他	420	330
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	26,548	23,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,492	4,344
機械装置及び運搬具（純額）	2,474	2,553
土地	3,677	3,677
その他（純額）	330	356
有形固定資産合計	10,974	10,933
無形固定資産	73	69
投資その他の資産		
投資有価証券	1,534	1,808
その他	545	590
貸倒引当金	△414	△419
投資その他の資産合計	1,664	1,979
固定資産合計	12,712	12,982
資産合計	39,261	36,553

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,586	2,697
短期借入金	4,269	5,269
未払法人税等	82	42
受注損失引当金	11	0
未払金	5,924	4,408
その他	1,739	1,878
流動負債合計	15,615	14,297
固定負債		
長期借入金	1,376	841
退職給付引当金	4,281	4,171
役員退職慰労引当金	31	28
環境対策引当金	39	39
固定負債合計	5,729	5,080
負債合計	21,344	19,378
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,316	12,316
資本剰余金	10,354	5,469
利益剰余金	△4,250	△16
自己株式	△1,236	△1,237
株主資本合計	17,184	16,532
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△321	△375
繰延ヘッジ損益	0	0
その他の包括利益累計額合計	△321	△375
少数株主持分	1,054	1,017
純資産合計	17,917	17,174
負債純資産合計	39,261	36,553

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)
売上高	21,583	16,605
売上原価	18,773	15,187
売上総利益	2,809	1,417
販売費及び一般管理費	2,137	2,024
営業利益又は営業損失(△)	672	△606
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	7	8
その他	18	20
営業外収益合計	27	29
営業外費用		
支払利息	53	46
為替差損	74	16
雑損失	4	4
営業外費用合計	132	67
経常利益又は経常損失(△)	567	△645
特別利益		
固定資産売却益	—	1
貸倒引当金戻入額	0	—
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産処分損	9	21
ゴルフ会員権評価損	—	2
特別損失合計	9	23
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	559	△666
法人税、住民税及び事業税	21	18
法人税等調整額	0	0
法人税等合計	22	18
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	536	△685
少数株主利益又は少数株主損失(△)	39	△33
四半期純利益又は四半期純損失(△)	496	△651

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	536	△685
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	△54
繰延ヘッジ損益	0	△0
その他の包括利益合計	△6	△54
四半期包括利益	530	△740
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	491	△705
少数株主に係る四半期包括利益	39	△34

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	559	△666
減価償却費	543	662
受取利息及び受取配当金	△9	△8
支払利息	53	46
売上債権の増減額(△は増加)	△1,091	1,932
たな卸資産の増減額(△は増加)	70	△304
仕入債務の増減額(△は減少)	△207	△2,613
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△6	△110
その他	△55	360
小計	△143	△702
利息及び配当金の受取額	9	8
利息の支払額	△49	△46
法人税等の支払額	△22	△43
営業活動によるキャッシュ・フロー	△205	△783
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	—	100
有形固定資産の取得による支出	△663	△603
投資有価証券の取得による支出	△12	△10
子会社株式の取得による支出	△23	△318
その他	3	△47
投資活動によるキャッシュ・フロー	△694	△879
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出	△594	△534
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1	—
少数株主への配当金の支払額	△2	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△599	462
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,513	△1,194
現金及び現金同等物の期首残高	12,899	11,057
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,385	9,863

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年12月1日 至 平成23年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	繊維機械 事業	工作機械 関連事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	18,763	2,820	21,583	—	21,583
セグメント間の内部売上高 又は振替高	284	—	284	△284	—
計	19,047	2,820	21,867	△284	21,583
セグメント利益	1,209	12	1,221	△549	672

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメントに配賦していない全社費用△549百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年12月1日 至 平成24年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	繊維機械 事業	工作機械 関連事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	12,747	3,857	16,605	—	16,605
セグメント間の内部売上高 又は振替高	366	—	366	△366	—
計	13,114	3,857	16,972	△366	16,605
セグメント利益又は損失(△)	△306	263	△42	△563	△606

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメントに配賦していない全社費用△563百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

3. 第1四半期連結会計期間より、従来の「工作用機器事業」について「工作機械関連事業」へ名称を変更しています。なお、当該変更は名称変更のみであり、事業区分の方法に変更はありません。これに伴い、前第2四半期連結累計期間についても、当第2四半期連結累計期間と同様に「工作機械関連事業」と記載しています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年2月24日開催の定時株主総会における「剰余金の処分の件」の決議に基づき、その他資本剰余金4,884百万円を繰越利益剰余金に振り替えています。

この結果、当第2四半期連結会計期末において、資本剰余金が5,469百万円、利益剰余金がマイナス16百万円となっています。